

## 平成29年度 公共施設における数値目標

目的	項目	平成 29 年度 目標	
地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を 2010（平成 22）年度比で 15.2%以上削減する。（1,138t-CO <sub>2</sub> 相当）（※）	
	電気使用量の削減	電気使用量を 2010（平成 22）年度比で 15.0%以上削減する。（2,261 千 kWh 相当）	
	公用車	ガソリン	ガソリン使用量を 2010（平成 22）年度比で 20.0%以上削減する。（15,526 l 相当）
		軽油	軽油使用量を 2010（平成 22）年度比で 60.0%以上削減する。（37,576 l 相当）
	燃料	都市ガス	都市ガス使用量を 2010（平成 22）年度比で 21.0%以上削減する。（52,181kg 相当）
		重油	重油使用量を 2010（平成 22）年度比で 10.0%以上削減する。（29,640 l）
		灯油	灯油使用量を 2010（平成 22）年度比で 25.6%以上削減する。（7,724 l）
		L P G	LPG 使用量を 2016（平成 28）年度比で増加させない。（※2016（平成 28）年度実績：72 t）
循環型社会の構築	紙類使用量	OA 用紙の使用量を 2016（平成 28）年度比で 5.0%以上削減する。（2015（平成 27）年度比で増加させない。）（3,211kg 相当）	
	ごみ排出量	ごみの排出量を 2009（平成 21）年度比で 50.0%以上削減する。（39,947kg 相当）	
健全な水循環	水使用量	水使用量を 2016（平成 28）年度比で増加させない。（※2016（平成 28）年度実績：236,712 m <sup>3</sup> ）	

（※）環境モデル都市アクションプランの中期目標である 2030（平成 42）年度 35%削減（2006（平成 18）年度比）を最終目標としている。2017（平成 29）年度は、2016（平成 28）年度と同様に、新施設の開設によるエネルギー使用量の増が見込まれる。しかしながら、最終目標を達成するために 2017（平成 29）年度から毎年度均等に削減することが必要と考え、目標を設定する。